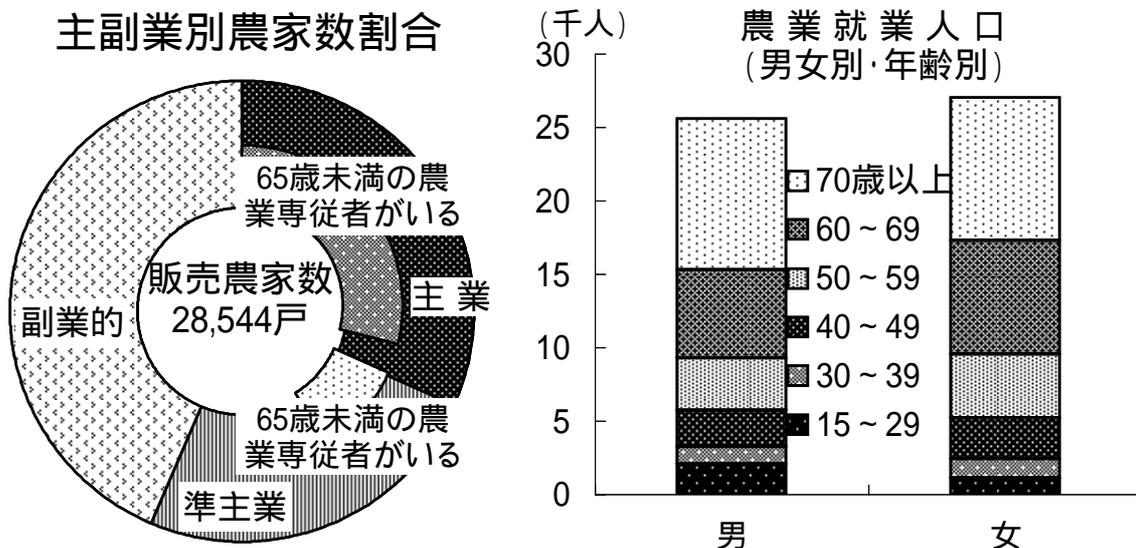


農業の概況

2005年農林業センサス結果概要(確定値)



1 農業経営体数

平成17年2月1日現在の長崎県の農業経営体数は 29,229経営体で、前回に比べ12.6%減少した。このうち、家族経営体数は 28,893戸で、前回に比べ 12.6%減少した。また、農業経営体数に占める家族経営体数の割合は 98.9%となっている。

2 経営耕地面積規模別経営体数(家族経営)

農業経営体を経営耕地面積規模別にみると、0.3～5.0ha層は 27,685経営体(全体に占める割合95.8%)で前回に比べ 4,533経営体 14.1%の減少となっている。

一方、5.0～10.0ha層は304経営体(同1.1%)で前回に比べ47経営体、18.3%の増加、10.0ha以上層は49経営体(同0.2%)で前回に比べ16経営体、48.5%の増加となっている。

これら上部階層が増加している傾向は、全国と同様である。

3 販売農家数及び農業生産構造

総農家数は 41,956戸で、うち販売農家数は 28,544戸である。

販売農家を主副業別にみると、主業農家は9,063戸で販売農家の31.8%を占めている。また、準主業農家は 7,043戸で 24.7%を占め、副業的農家は 12,438戸で 43.6%を占めている。

農業就業人口は 52,661人で、うち男は 25,606人で割合は 48.6%となっている。年齢別にみると、60歳以上の人口は33,765人で割合は64.1%となっている。

2005年農林業センサスでは、これまでの「農家・林家」の調査単位に加え、経営に着目した農林業経営体の調査単位で把握。(県統計課)

調査体系の見直しにより、農家数の把握等が農林業センサス時にしかできなくなったため、「農業の概況」は5年ごとの農林業センサス時に内容更新します。